

きんもくせい

病院だより

vol.117

令和5年
3月号

あなたの骨、弱くなってはいませんか？ 余命に影響も…高齢者に多い大腿骨近位部骨折



▲ 診療をしている整形外科 落合医師

大腿骨は太ももの骨のことで、人体で一番大きい骨です。この「大腿骨近位部骨折」という太ももの骨折が、高齢者に多い骨折だということをご存知でしょうか？

高齢者になるとバランス感覚が失われ、転びやすくなります。また、骨の密度が減ることで骨が弱くなり骨折しやすくなる、骨粗鬆症こつそしょうじょうという病気も発症しやすくなります。このようなことから、ちょっとバランスを崩して転んでしまっただけで、大腿骨近位部骨折を起こしてしまうのです。

大腿骨近位部骨折の怖いところは、長期間の安静により認知機能や運動機能が低下し、認知症や寝たきりになってしまう可能性があることです。大腿骨近位部骨折の合併症を防ぐには、早期治療とリハビリが大切です。

今月号は、大腿骨近位部骨折の治療について、整形外科落合医師が詳しく解説します。

人生100年時代に向けて 大腿骨近位部骨折の治療と予後

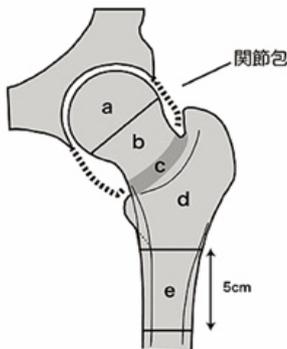


整形外科部長 **落合 聡史** 医師

大腿骨近位部骨折とは

大腿骨は足の付け根から膝までの太ももの骨で、人体最大の長管骨（手足の長く伸びた管状の骨）であり、体重を支えたり歩行をする際になくてはならない骨です。「大腿骨近位部」とは、大腿骨の先端で体の中心に近い側の部分を指します。最先端の球状の部分を大腿骨頭といい、大腿骨頭が骨盤の受け皿（寛骨臼）にはまり込んで、股関節を形成します。

大腿骨近位骨折部



- a. 骨頭骨折
- b. 頸部骨折
- c. 頸基部骨折
- d. 転子部骨折
- e. 転子下骨折

図1

高齢者の大腿骨骨折は一般的に、尻もちや介護におけるおむつ交換時などの軽微なエネルギーで受傷する大腿骨近位部骨折を指しますので、ここではそれらについてご紹介します。この骨折は主に骨粗鬆症の高齢者に生じやすく、骨折部位によって呼び方が変わります（図1）。前述のように大腿骨は体重を支えるのに必要な骨なので、大腿骨近位部骨折を起こすと、歩行はおろか立っていることも困難となります。

日本における大腿骨近位部骨折患者は増加傾向にあり、2012年の年間発生数は175,700例（男性37,600例、女性138,100例）でした（図2）。今後も高齢化が進むにつれます発生数が増加し、2030年には約29万人、2040年には約32万人まで達すると推計されています。

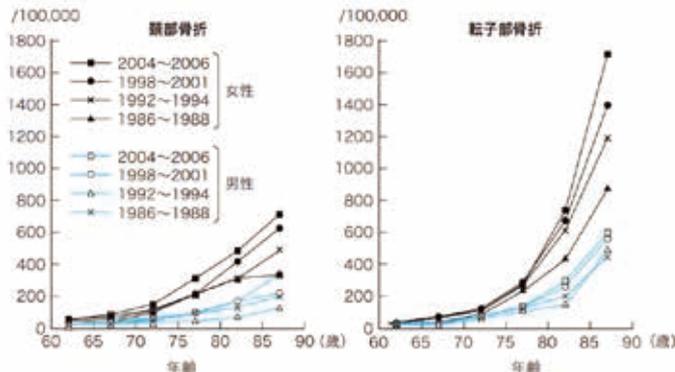


図2

「大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン2021」より引用

大腿骨近位部骨折の治療

大腿骨近位部骨折は、早期の離床・リハビリテーションを可能にするために、一般的には手術治療が必要となります。手術以外の治療（保存治療）は、骨が癒合しない（偽関節※）確率が非常に高いため、よほど全身の状態が悪く手術侵襲に耐えられない状態でなければ、推奨されません。大腿骨近位部骨折のうち、大腿骨頸部骨折と大腿骨転子部骨折で下記のように手術方法が異なります。

大腿骨頸部骨折では、骨折部のズレが少ない場合や比較的若年者であった場合は、金属製のネジなどのインプラントを骨に刺入して、骨折部を安定化させる骨接合術が行われます。一方、骨折部のズレが大きい場合、前述のような骨接合術では偽関節率が高くなってしまいうため、人工骨頭（図3）や人工関節などの人工物置換の手術が行われます。

大腿骨転子部骨折では、当院ではほぼ全例に髓内釘というインプラントを用いて骨接合術を実施しています（図4）。

いずれの方法でも、基本的には手術翌日から積極的に離床をして、手術した足に何の制限もない状態で歩行訓練などのリハビリテーションを開始します。図3、4のレントゲンを示した患者さまは、現在も術後経過フォローで外来通院中ですが、独歩可能な状態です。

※偽関節…骨折した骨が再生する過程で止まってしまう、骨がうまく癒合せず、本来つながっている部分がきれいにくっつかず、関節のようになってしまう状態



図3



図4

大腿骨近位部骨折の予後

大腿骨近位部骨折の1年死亡率は2.6%～33%と報告にばらつきはありますが、多いものでは約3割の方がお亡くなりになってしまう現状です。これは、もともと高齢者の受傷がほとんどであり、多数の基礎疾患を有していることや、治療中に肺炎や心疾患などの合併症を発症してしまうケースが多いためです。

大腿骨近位部骨折治療後の歩行能力に関しては、術後のリハビリテーションが重要となります。当院のような急性期病院でのリハビリテーションだけでは歩行能力や日常生活動作の改善は充分ではなく、一般的には急性期病院退院後、3～6か月のリハビリテーション期間が必要と言われています。ただし、受傷前から寝たきりや車椅子生活だったり、積極的にリハビリテーションを実施できる認知機能が損なわれている方に関しては、残念ながら機能予後は芳しくないのが実情です。

また、大腿骨近位部骨折を受傷され手術治療を受けた方が、反対側の大腿骨近位部骨折を1～2年以内に受傷さ

れるケースが多いです。しかしながら、骨粗鬆症の治療を開始することによって（既に治療を受けている方は薬剤の見直しなど）、反対側の大腿骨近位部骨折の発生率を軽減できるという報告もあります。

最後に

大腿骨近位部骨折は、健康寿命の悪化だけでなく生命予後にも関わる重篤な骨折です。単なる外傷ではなく、骨粗鬆症などの全身疾患が関与する一連の疾患群と捉える必要があります。当院では9名の整形外科医（うち整形外科専門医7名）により、内科医や麻酔科医との連携をとりつつ、迅速かつ安全な手術治療を実施できるよう取り組んでいます。また、手術を終えた後も、術後経過フォローや二次骨折予防のための骨粗鬆症治療を積極的に実施しています。こうした活動により、「人生100年時代」と言われる現代社会において、少しでも地域住民の皆さまへの手助けができればと考えています。

令和4年度 患者満足度調査結果報告（抜粋）

外来及び入院患者さまを対象としたアンケートを実施しましたのでご報告いたします。

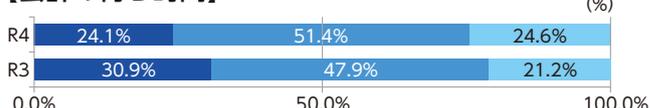
	調査実施日	有効回収数 (回収率)
外 来	令和4年10月17日(月)～21日(金)	864件 (回収率57.6%)
入 院	令和4年10月 1 日(土)～31日(月)	308件 (回収率76.0%)

【外 来】 ■とても満足・やや満足 ■ふつう ■やや不満・とても不満

【医師の応対】



【会計の待ち時間】



【看護師の応対】

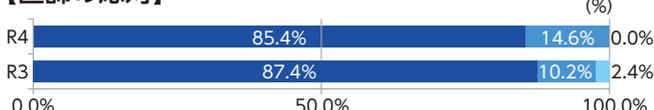


【総合評価】

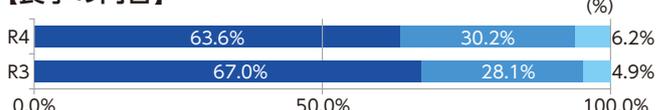


【入 院】 ■とても満足・やや満足 ■ふつう ■やや不満・とても不満

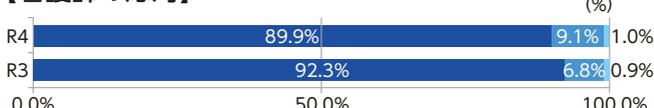
【医師の応対】



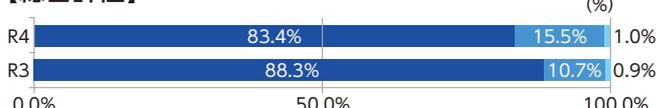
【食事の内容】



【看護師の応対】



【総合評価】



調査結果及び皆さまからいただいた貴重なご意見等を踏まえ、引き続き患者満足度を高めつつ医療の質の向上に取り組んでまいります。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。



草木に潜む・・・意外と怖いマダニの話



マダニは、野山や草むらなどに生息しており、主に春から秋に活発になります。そのため、これからの時期に山や草むらに近づくときには注意が必要です。ダニという和家人にいる小さなダニ（ヒョウヒダニ）を想像しますが、それに比べるとマダニは大型なのが特徴です。草木に近づいた人や動物に飛び移り吸血します。吸血すると体はさらに大きくなります。しかし、マダニの唾液には麻酔効果があるため、咬まれていることに気が付かないことも多くあります。（実際、私の家族も咬まれていました…気が付いたのは山遊びの翌日でした。）

仮にマダニに気が付いたとしても、無理に取ろうとはしないでください。マダニは咬みつくとときに唾液以外にもセメント様の物質を出して固定しています。無理に取ろうとすると、口部分だけが残ってしまい、化膿する原因になったり、吸血中のマダニの体を潰してしまうことで、マダニの体液が人

の体に入ってしまったたりすることがあります。

そのため、マダニに気が付いたときには、医療機関を受診し、適切な処置を受けるようにしましょう。また、咬まれた後は、体調の変化に注意する必要があります。ウイルスに感染したマダニに咬まれると感染症を発症することがあります。2週間以内に発熱や倦怠感、嘔気や腹痛などの消化器症状、意識障害などの症状が出た場合は、医療機関を受診する際に、マダニに咬まれていたことを伝えてください。

何事も「予防」が大切です。まずは、咬まれないようにレジャーや庭仕事など、草木に近づくときには長袖、長ズボンの着用や、裾を覆うなど肌の露出を減らすことが重要です。新生活が始まり、外に出て活動する機会も増えていくこの時期、注意して過ごしていただければと思います。



▲ 皮膚に咬み付くマダニ

救命救急センター外来 救急看護認定看護師 高井 純太

お知らせ - information -

Wi-Fiサービスの提供開始に向けて準備を進めています

入院中や診察の待ち時間等でご利用いただける院内 Wi-Fi 設備の準備を進めています。令和5年4月に提供開始予定です。

※提供開始日は変更になる場合があります。

※院内 Wi-Fi に関するお問い合わせ（サービス提供エリアや利用方法など）にはお答えできませんので予めご了承ください。



1月の 診療実績

1日あたりの患者数		病床利用率	79.5%
入院	398人	平均在院日数	10.1日
外来	1,178人	手術件数	476件
紹介率	87.6%	救命救急センター受診者数	1,373人
逆紹介率	110.4%	救急搬送件数	546件



※12月の紹介率は88.9%、逆紹介率は107.0%です

病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1

TEL 0537-21-5555

